

# 躍動する兵庫、新時代への挑戦

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が広がりを見せてから3年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混迷するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

こうした変化の大きな時代だからこそ、受身になることなく、新たな挑戦を起こすことが大切ではないでしょうか。令和5年は「躍動する兵庫」の実現に向け、果敢にチャレンジする年にしたいと思います。

その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの利活用や中小企業のCO<sup>2</sup>排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の形成をめざします。大阪・関西万博が開催される2025年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「フィールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。

若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアントレプレナーシップ(起業家精神)教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今年ももっとも大切にする姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし、施策につなげていきます。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



(公財)兵庫県芸術文化協会 会長  
齋藤元彦



題字・井茂圭訓(書家・文化功労者)

兵庫県芸術文化協会  
●発行所●  
(公財)兵庫県芸術文化協会文化振興部  
〒650-0011  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
(兵庫県民会館内) ☎078-321-2002  
編集・発行人/西上三鶴  
(公財)兵庫県芸術文化協会理事長  
<https://hyogo-arts.or.jp>

SNS ソーシャルネットワークサービス  
やっています!



## 伝統文化体験教室

### 「能楽のススメ」 参加者募集

「能」のおもしろさをわかりやすくご紹介する入門講座です。  
兵庫県公館にある和風会議室「楠園亭」で、能楽師の指導のもと、幽玄でシリアスな「能」と笑いの「狂言」を学びます。対照的な世界を楽しんでください。

①謡曲と仕舞の体験  
②狂言の体験

【日時】2月15日(水)①13時30分～14時30分 ②14時40分～15時40分

【場所】兵庫県公館 和風会議室「楠園亭」

【講師】能楽協会神戸支部

【定員】各6名(先着順)

【参加費】無料

【申込み】氏名、年齢、〒住所、電話番号、FAX、ご希望の受講時間(①・②・両方)を記入のうえ、当協会文化振興部までFAX(078-321-2139) またはメール(sinkou@hyogo-arts.or.jp)、または電話(078-321-2002)でお申し込みください。※開催3日前までに受講案内をお送りします

兵庫県公館 和風会議室「楠園亭」



## 兵庫県美術家同盟俊英展を開催

2月8日から12日まで

県民アートギャラリーで

県内を拠点に活動する洋画、工芸等の作家約130名が所属する「兵庫県美術家同盟」の特別展を開催します。  
【出品作家】阿部良次、島頭尾寧朗、宇野孝之、大倉悦男、亀井啓二、亀谷修次、久谷義昭、五島明末、竹山公栄、辻恵子、西海晴子、長谷川昭三、旗手愛子、藤原かおり、藤原廣幸、山本千瑛子

【日時】2月8日(水)～12日(日)  
【場所】兵庫県民アートギャラリー特別展示室(兵庫県民会館1階)  
【問い合わせ】当協会文化振興部 ☎078-321-2002



8年ぶりの開催となる兵庫県美術家同盟俊英展(写真は前回の展覧会)

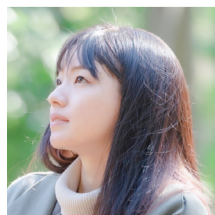
## 新進芸術家に発表の場を!! 兵庫県民会館けんみんホールで開催!!

### 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ

1月

Vol. 55

#### 北村萌 打楽器・マリンバリサイタル



北村萌

【日時】令和5年1月27日(金)19時  
【出演】打楽器・マリンバ/北村萌  
北村萌12歳より打楽器、14歳よりマリンバを始める。神戸山手女子高等学校音楽科を経て同志社女子大学学芸学部音楽学科を卒業。東京国際マリンバコンクール第2位および特別賞、イタリア国際打楽器コンクールファイナリスト他。現在はスイス・イタリア音楽院にて研鑽を積む。  
【予定曲目】坂口菜摘/静寂の森、ベア・ノアゴー/易経より三楽章、アストル・ピアソラ(編曲)バイアス・チェン/ブエノスアイレスの夏ほか  
【入場料】一般2000円(全席自由)  
\*いけばな/連徳甫(末生流)

2月

Vol. 56

#### 池内響・バリトンリサイタル



池内響

【日時】令和5年2月17日(金)18時30分  
【出演】バリトン/池内響、ピアノ/矢野雄太  
池内響11歳東京藝術大学大学院オペラ科修了。第10回サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクール1位(伊)等受賞多数。  
第37回姫路市芸術文化奨励賞、第25回坂井時忠音楽賞、2020年兵庫県芸術奨励賞を受賞。ニッセイオペラ《ドン・ジョヴァンニ》題名役等、オペラにも多数出演。  
【予定曲目】瀧廉太郎/荒城の月、越谷達之助/初恋、W.A.モーツァルト/歌劇《ドン・ジョヴァンニ》より、ジャンパンの歌ほか  
【入場料】一般3000円(全席自由)  
\*いけばな/木原三枝子(池坊)

読者プレゼント 公演チケットを3組6人に。  
会員特典 公演に友の会会員をご招待。5組10人に。※いずれも応募多数の場合は抽選。応募方法は本紙2面。1月12日(木)必着

## 兵庫県芸術文化協会 友の会について

生活文化大学各講座の受講料、特典施設での割引などお得がいっぱいの友の会は、年会費3000円(4月から翌年3月までの1年間)です。  
※年度途中からのご入会でも3000円になります。  
【お問い合わせ】当協会文化振興部 ☎078-321-2002



詳しくはHPへ

# 催物情報 イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

兵庫県民アートギャラリー ☎078・321・2131 ※入場無料

- 第37回 私学教員美術展〈1階〉 1月27日(金)～29日(日)  
日本画・洋画・工芸等約30点
- 第61回 兵庫県私学総連合美術展〈2階〉 1月27日(金)～29日(日)  
日本画・洋画・工芸・デザイン約250点

ひょうごアーティストサロン ☎078・321・2005 ※入場無料

- 兵庫県民会館ロビーコンサート 菅田真弓 1月14日(土)14:00～14:30  
ピアノコンサート 出演:菅田真弓(ピアノ)
- 兵庫県書作家協会選抜展 兵庫県書作家協会会員 ～1月31日(火)  
6人による作品展6点

原田の森ギャラリー ☎078・801・1591 ※入場無料(一部有料)

- 伝説のプログラマー ビル・アトキンソン 1月5日(木)～15日(日)  
木化石「ガイアの夢」写真美術展〈東館2階〉 ※入場料500円  
写真約40点
- 第30回 展覧会〈本館1・2階〉 書約1000点 1月7日(土)～8日(日)
- 第22回一先会書道展 併催 第20回全国学生書道展〈本館1・2階、東館1階〉 書約280点 1月13日(金)～15日(日)
- 第29回 灘区シルバーアート展〈東館1階〉 1月18日(水)～22日(日)  
書・絵画・写真・工芸他約50点
- 神戸朝高美術部展 20周年記念展 第14回 OB・OG展〈東館2階〉 1月18日(水)～22日(日)  
水彩・立体約20点
- 第13回神戸笹波会代表展〈本館1・2階〉 1月21日(土)～22日(日)  
書約150点
- 第96回国画会写真部 選抜巡回展 in 神戸〈東館2階〉 写真約200点 1月24日(火)～29日(日)
- 書道 香瓊展〈本館1・2階、東館1階〉 1月27日(金)～1月29日(日)  
書約350点
- 「しないシナイ」が「したのシタノ」展〈障害者アートギャラリー〉 1月12日(木)～3月21日(火祝)  
洋画・工芸・デザイン約100点

神戸市立小磯記念美術館 ☎078・857・5880

- コレクション企画展示「石阪春生と新制作の神戸」 1月4日(水)～4月16日(日)  
※一般200円ほか【友の会割引あり】  
石阪氏の油彩画35点、素描5点を中心に交流のあった神戸の画家たちの作品を展示 ※2月28日(火)より一部作品の展示替えあり

5組10人にチケットプレゼント。締切1月12日(木)必着

## プレゼントのご応募について

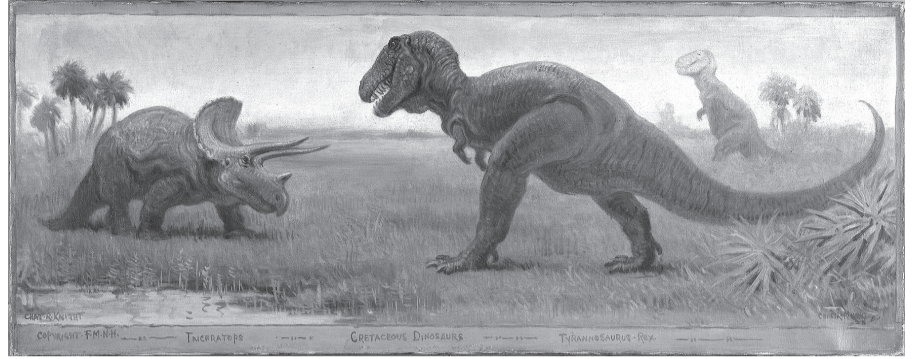
- ①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキかFAXで送付。

\*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。  
\*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3  
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139

## 生活文化大学〈短期講座〉 展覧会特別鑑賞講座 受講生募集

兵庫県立美術館で開催する異色の恐竜展  
特別展「恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造」



チャールズ・R・ナイト《白亜紀—モンタナ》1928年 油彩・カンヴァス 38.1cm×96.5cm  
プリンストン大学美術館 Image courtesy Princeton University Art Museum.



ニーヴ・バーカー《ティラノサウルス・レックス》1950年代  
グアッシュ、インク・紙54×37.5cm  
ロンドン自然史博物館  
©The Trustees of the Natural History Museum, London

今回の展覧会特別鑑賞講座は、3月から兵庫県立美術館で開催される特別展の、恐竜の生き生きと姿を描いた絵画作品などを通して、今なお多くの人を引き付けてやまない太古の世界のイメージが、どのように構築されてきたかについて解説します。担当学芸員だからこそ知る詳しいエピソードや鑑賞のポイントを聞いた後、ゆつくりと展覧会を鑑賞いただきます。

【講師】岡本弘毅(兵庫県立美術館学芸員)

【日時】3月15日(火)14時～15時30分

【場所】兵庫県立美術館レクチャールーム

【受講料】一般2000円(1000円)、会員1600円(800円)  
\*( )内70歳以上

※展覧会のチケットは講座終了後にお渡しします(講座前の展覧会鑑賞はできません)。

【定員】40人

【申し込み・お問い合わせ】当協会文化振興部(☎078・321・2002)

### 【本展の見どころ】

200年前にイギリスで中生代の巨大爬虫類の化石が発見されて以降、初期の古生物学者が創造したイマジネーションの世界を復元図などを通して紹介。日本でも明治以降、書籍や玩具を通して親しまれ、日本文化に浸透した恐竜のイメージを回顧します。

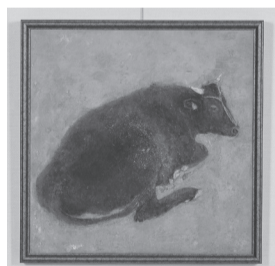
【会期】3月4日(土)～5月14日(日)

【開館時間】10時～18時(入場は閉館30分前まで)

【観覧料】一般2000円(1600円)、大学生1500円(1200円)、70歳以上1000円(800円)、高校生以下無料 ※( )内は当協会友の会会員料金

【休館日】月曜日(ただし、祝日の場合は翌平日)

## ふれあい文化の祭典 兵庫ふれあい美術展 美術愛好家による 作品400点以上を展示



「反芻・うご牛」  
宮田有恒(日本画)



「こいのぼりの季節」  
薦田佳郎(写真)

県内の各地域から寄せられた400点以上の作品から、特別賞36点の受賞作品が選ばれました。

【受賞者(敬称略)】  
▼兵庫県知事賞Ⅱ日本画／宮田有恒、洋画／金崎佳子、彫刻／吉本菜純、工芸／大



「初秋の花」  
松本洋子(鈴懸の径絵画)



「追想」  
金崎佳子(洋画)

▼兵庫県日本画家連盟賞Ⅱ日本画／小島佳子  
▼兵庫県美術家同盟賞Ⅱ洋画／有馬真美子  
▼兵庫県工芸美術作家協会賞Ⅱ工芸／古廣幸紀  
▼兵庫県書作家協会賞Ⅱ書

▼朝日新聞社賞Ⅱ鈴懸の径絵画／小野晃  
▼神戸新聞社賞Ⅱ写真／久留米敏仁  
▼産経新聞社賞Ⅱ書／南場扇月  
▼毎日新聞社賞Ⅱ洋画／土井恵子  
▼読売新聞社賞Ⅱ洋画／大谷顕治  
▼NHK神戸放送局賞Ⅱ洋画／垣内健太  
▼サンテレビ賞Ⅱ洋画／渡部和枝  
▼ラジオ関西賞Ⅱ日本画／伊藤一郎

▼ほか佳作23点  
\*掲載写真は各部門の兵庫県知事賞の受賞作品です

▼(公財)兵庫県芸術文化協会賞Ⅱ洋画／鷲尾さえ子、書／池田まゆみ、鈴懸の径絵画／大谷顕治  
▼朝日新聞社賞Ⅱ鈴懸の径絵画／小野晃  
▼神戸新聞社賞Ⅱ写真／久留米敏仁  
▼産経新聞社賞Ⅱ書／南場扇月  
▼毎日新聞社賞Ⅱ洋画／土井恵子  
▼読売新聞社賞Ⅱ洋画／大谷顕治  
▼NHK神戸放送局賞Ⅱ洋画／垣内健太  
▼サンテレビ賞Ⅱ洋画／渡部和枝  
▼ラジオ関西賞Ⅱ日本画／伊藤一郎

▼(公財)兵庫県芸術文化協会賞Ⅱ洋画／鷲尾さえ子、書／池田まゆみ、鈴懸の径絵画／大谷顕治  
▼朝日新聞社賞Ⅱ鈴懸の径絵画／小野晃  
▼神戸新聞社賞Ⅱ写真／久留米敏仁  
▼産経新聞社賞Ⅱ書／南場扇月  
▼毎日新聞社賞Ⅱ洋画／土井恵子  
▼読売新聞社賞Ⅱ洋画／大谷顕治  
▼NHK神戸放送局賞Ⅱ洋画／垣内健太  
▼サンテレビ賞Ⅱ洋画／渡部和枝  
▼ラジオ関西賞Ⅱ日本画／伊藤一郎

兵庫県在住、在勤、在学の美術愛好家による日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真に、鈴懸の径絵画(テマあり)部門を加えた幅広いジャンルの作品が、12月23日から25日にかけて兵庫県立美術館王子分館の原田の森ギャラリーで展示されました。

松徳子、書／戒井華泉、写真／薦田佳郎、鈴懸の径絵画／松本洋子  
▼兵庫県日本画家連盟賞Ⅱ日本画／小島佳子  
▼兵庫県美術家同盟賞Ⅱ洋画／有馬真美子  
▼兵庫県工芸美術作家協会賞Ⅱ工芸／古廣幸紀  
▼兵庫県書作家協会賞Ⅱ書



「fantastic tree」  
吉本菜純(彫刻)

▼兵庫県教育委員会賞Ⅱ日本画／藤岡千代美、洋画／片山保幸、工芸／石田悦子、書／松井英樹、写真／高橋三吉、鈴懸の径絵画／有馬真美子  
▼(公財)兵庫県芸術文化協会賞Ⅱ洋画／鷲尾さえ子、書／池田まゆみ、鈴懸の径絵画／大谷顕治

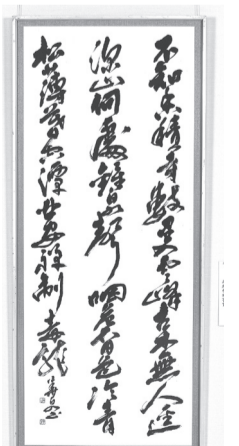


「孫文記念館(移情閣)」  
大松徳子(工芸)

▼兵庫県議会賞  
賞Ⅱ日本画／森俊人、洋画／相良みつよ、工芸／谷口町子、書／齋藤光、写真／馬場和正、鈴懸の径絵画／正

井幸雄  
▼兵庫県教育委員会賞Ⅱ日本画／藤岡千代美、洋画／片山保幸、工芸／石田悦子、書／松井英樹、写真／高橋三吉、鈴懸の径絵画／有馬真美子

▼兵庫県写真作家協会賞Ⅱ写真／下垣和夫  
▼鈴懸の径絵画賞Ⅱ鈴懸の径絵画／小野晃



「王維詩」  
戒井華泉(書道)

# のピッコロシアター

06・6426・1940

2023ピッコロ寄席

## 「桂米團治独演会」

ますます華やかさと円熟味が増す桂米團治の高座をご堪能ください。

【出演・演目】「時うどん」

米輝、「稽古屋」米團治、「宿替え」雀五郎、「崇徳院」

【日時】2月5日(日)14時

【場所】ピッコロシアター 大ホール



桂米團治

【入場料】全席指定 一般3000円、高校生以下1500円

## ピッコロシアター文化セミナーラボ③

### 『クルト・ヴァイルの音楽世界』

様々な切り口、ユニークな方法で舞台芸術の魅力を探る。今回は、ピッコロ劇団公演『三文オペラ』の上演にさきがけて、『三文オペラ』の音楽を手掛けたクルト・ヴァイルにスポットを当て、ヴァイルの音楽世界の魅力を探ります。

【日時】1月21日(土)10時～11時30分

【場所】ピッコロシアター 小ホール

【講師】大田美佐子(神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授)「クルト・ヴァイルの世界ー実験的オペラからミュージカルへ」著者

【ゲスト】松本修(MOOD主宰)「三文オペラ」台本・演出

【参加費】無料(要申込)先着50名

【内容】レクチャー:大田美佐子、トークセッション:大田美佐子、松本修

**ピッコロシアター**  
https://piccolo-theater.jp

兵庫県芸術文化協会友の会会員は、兵庫県の公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員登録)

アクセス  
■JR宝塚線塚口駅から徒歩約5分  
■阪急神戸線塚口駅から徒歩約8分

お申し込み  
お問い合わせは  
06-6426-1940

## 兵庫県立ピッコロ劇団第75回公演

### ピッコロシアタープロデュース

#### 「三文オペラ」

関西で活躍する演劇人の力を結集して上演するプロデュース公演 第14弾!

19世紀ロンドン、社会の暗闇で燦然と繰り広げられる、男たち女たちの愛と欲の物語。時代を越えて人々を惹きつけてやまないブレヒトの傑作音楽劇『三文オペラ』にご期待ください。

【ものごと】盗賊団のボス・メッキースは、「乞食の友商会」社長ピーチャムの娘・ポリーをみそめ、結婚を挙げる。激怒したピーチャム



【日時】2月17日(金)19時、18日(土)11時/16時、19日(日)11時/16時

【場所】阪急中ホール(芸術文化センター)

【作】ブレヒト(谷川道子訳 光文社)

【台本・演出】松本修(MODE)

# 兵庫県立芸術文化センター

1月8日(日) 一般発売

## 月亭方正独演会

お笑い芸人から落語の道へ転身しまもなく15年、人気・実力ともに急上昇の月亭方正。今回は江戸落語の名手・柳家花緑をゲストに迎えてお送りします。

【出演】月亭方正

【ゲスト】柳家花緑

【日時】4月9日(日)14時

【場所】阪急中ホール(芸術文化センター)



柳家花緑



月亭方正

## 西宮ロータリークラブ presents ドリーム・コンチェルト2023

人気企画「ワンコイン・コンサート」シリーズ出演者の中から選ばれた精鋭たちが、PACオケとの共演を繰り広げる、年に一度の特別な演奏会。今年も豪華

【音楽】クルト・ヴァイル

【出演】孫高宏、木下菜穂子\*、松下美波\*、岡田力、吉村祐樹、鈴木あぐり、平井久美子他(\*は、オーディションにより出演する関西俳優)

【日時】2月17日(金)19時、18日(土)11時/16時、19日(日)11時/16時

【場所】阪急中ホール(芸術文化センター)

【作】ブレヒト(谷川道子訳 光文社)

【台本・演出】松本修(MODE)

0798・68・0255

プロムナード・コンサート

## 福川伸陽 ホルン・パラダイス

NHK交響楽団首席ホルン奏者として活躍し、今、世界で最も勢いのあるホルン奏者の一人、福川伸陽が登場! 天賦の才とカリスマ性を持った音楽家、福川伸陽だからこそ成しえるホルン・リサイタル。普段ホルンを聴かないかたも、ホルン通のかたも、どうぞご期待ください!

【出演】ホルン/福川伸陽、ピアノ/中野翔太

【曲目】(第一部) ぶらりホルンの旅

【日時】6月10日(土)14時

【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席2000円、B席1000円



福川伸陽

### チケットを購入されるお客様へ

新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。

※マスクを着用されていない方はご入場できません。

※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。

※チケットのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。

※掲載の情報は、やむを得ない事情により、中止・変更になる場合がございます。最新の情報につきましては、当センターウェブサイト等をご確認ください。

## 兵庫県立芸術文化センター

アクセス  
■阪急富田北口駅南改札口(連絡通路で直結)  
■JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス分)

お申し込み  
お問い合わせは  
0798・68・0255

(10時~17時・月曜休み※祝日の場合翌日)



http://www.gcenter-hyogo.jp

## 書道香瓔展

とき 令和5年1月27日(金)~29日(日)  
午前10時~午後5時(最終日は午後4時)

ところ 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー  
神戸市灘区原田通3-8-30 TEL 078-801-1591

- 第41回選抜130人展 一波動 (2階大展示室)
- パッション展 (1階展示室)
  - 第1部 第1回新鋭作家展
  - 第2部 第20期研究生修了展
  - 第3部 第40回ジュニア会員展特別賞作品展

《併催》第37回全国ジュニア書道展特別賞作品展 (東館1階)

主催 書道香瓔会 後援 読売新聞社 神戸新聞社  
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野4-107-1-105  
TEL 0795-48-5495

## 第13回 神戸笹波会代表展

— 伝統と格調 —

会期 令和5年1月21日(土)~1月22日(日)  
午前10時~午後5時(最終日は午後4時まで)

会場 原田の森ギャラリー2階大展示室・1階展示室  
〒657-0837 神戸市灘区原田通3-8-30 Tel (078)801-1591

神戸笹波会

〒651-0056 神戸市中央区熊内町4丁目8番8号-301  
Tel (078)241-3373 Fax (078)241-3372

VOCA30周年記念1994-2023

# VOCA 30 Years Story展 関西初上陸

## 原田の森ギャラリーで、3月9日～25日まで

将来性が高い40歳以下の若手作家による絵画や写真などを紹介する「VOCA (ヴォーカ) 展」の30周年を記念した「VOCA 30 Years Story展」が、原田の森ギャラリーで開催。VOCA展が関西に初上陸します。

VOCA展は国際的な活躍が期待される若手作家の支援を目的に、1994年にスタートした美術展。毎年、東京都の上野の森美術館で開催されており、今回、30周年を記念して、VOCA賞を受賞した歴代の作品30点を展示します。同賞の全受賞作が東京以外で一堂に会する初の試みで、美術界をけん引する作家たちの活動初期の貴重な作品が鑑賞できるまたとない機会です。ぜひ、ご来場ください。

【日時】3月9日(木)～25日(土) 10時～17時30分(最終入場は閉館30分前) \*月休

【場所】県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー

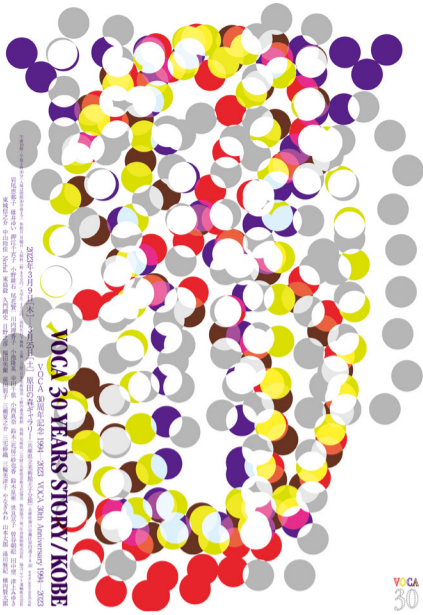
【入場料】一般800円、大学生400円、高校生以下無料

【主催】(公財) 日本美術協会 上野の森美術館



VOCA1999 VOCA賞  
やなぎみわ《案内嬢の部屋 B4》  
カラープリント・アクリル・  
木製パネル  
200.0×240.0cm

**読者プレゼント** 「VOCA 30 Years Story展」チケットを抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。1月12日(木)必着。



### 友の会(おすすすめスポット) たずね歩き 聖徳太子ゆかりの寺 刀田山鶴林寺 文化財が数多く残る「播磨の法隆寺」



国宝の鶴林寺本堂



平安時代に建立された国宝の太子堂

加古川市にある古刹「鶴林寺」では毎年1月8日、修正会「鬼追い」が催されます。平安時代から続く伝統行事で市の無形民俗文化財に指定されています。

コロナ禍でも行事は行われましたが、2021年は無観客、22年は声出し無しで観客も少なかったそうです。それ以前の動画を見たところ大変な熱気です。本堂に現れた赤鬼と青鬼が参詣客を威嚇するように練り歩き、子どもたちを中心に「どいやしよー」などと囃し立てる声、怖がる幼児の泣き声、あひま。最後に鬼は反省して退散します。穢れを祓い新しい年の平安を祈ります。

鶴林寺は飛鳥時代の6世紀末、聖徳太子によって「四天王寺」の名前で創建されたと伝わります。平安時代の1112年、鳥羽天皇によって勅願寺と定められ寺号を「鶴林寺」に改めました。天台宗の寺院で山号は刀田山。本尊の薬師如来像は本堂の扉の奥に隠れ、60年に1回しか見られません。

寺の歴史について、茂渡俊慶住職は「全盛期の室町時代には2万5千石の広大な領地に300人の僧侶がおり、境内を取り囲むように塔頭坊があったそうです」と話します。戦国以降は領地が次々と切り取られ200石以下に、明治期には



新年恒例行事の「鬼追い」

「文化財ファンにはたまらないお寺です」と茂渡住職は豊富な文化財を見どころに挙げます。中でも宝物館にある重要文化財の金銅聖観音立像(飛鳥時代後期)は「あいたた観音」の名で知られ、海外でも絶賛されたそうです。腰をくねらせたような曲線美が白鳳期の特徴で、やさしい笑顔、スタイルのよさにも惹きつけられます。

加古川市は将棋が盛んなことでも有名です。市ゆかりのプロ棋士も多く「棋士のまち」の看板が目につきます。JR加古川駅前の百貨店ヤマトヤシキフ階には「かこがわ将棋プラザ」があります。プロ棋士の直筆扇子などが展示され、将棋グッズも販売。将棋教室や自由対局コーナーもありです。問い合わせは加古川市ウエルネス協会(☎079-4244-9395)へ。



かこがわ将棋プラザの入口には棋士の扇子を展示



かこがわ将棋プラザの入口には棋士の扇子を展示



すらっとした立ち姿の金銅聖観音立像

### お出かけ ちょっとメモ

▶ 刀田山鶴林寺=加古川市加古川町北在家424。開門9時、閉門16時半。参拝は年中無休。入山料・宝物館拝観料は各500円(小中学生各200円)、セット券は800円。当協会友の会は各450円、セット券720円。JR加古川駅から、かこバス8分「鶴林寺」下車すぐ。山陽電鉄尾上の松駅から徒歩15分。☎079-454-7053

**読者プレゼント** 鶴林寺の入山料と宝物館拝観料の無料招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。1月12日(木)必着。

## 兵庫県民会館

音楽会、講演会、研修会、展覧会などにご利用いただけます。

### 9階けんみんホール

定員360名。多彩な利用ができます。



### 11階パルテホール

定員150名。展示商談会、各種表彰式にも利用できます。

県民会館のSNS発信を  
始めました。  
ギャラリーの展示会情報  
やご利用案内などをお届  
けします。



### 兵庫県民アート ギャラリー情報

- 展示パネル、室内照明等リニューアル
- 小展示室を拡張し、より広く使いやすく

※詳細は、アートギャラリー担当まで(連絡先は右記)

〒650-0011  
神戸市中央区下山手通  
4丁目16番3号

**【アクセス】**  
▷地下鉄山手線「県庁前駅」下車すぐ  
▷JR神戸線「元町駅」・阪神本線「元町駅」下車、北へ徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ  
TEL. 078-321-2131  
FAX. 078-321-2138

<https://hyogo-arts.or.jp>

※空室情報はホームページで随時更新中

新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。

駐車場36台完備(24時間営業)